

循環型社会の形成に向けた 具体的な取り組み

市民の取り組みメニュー

買い物するときのポイント

- 買い物袋（マイバック）を利用しましょう。
- 使い捨て商品を買わないようにしましょう。
- 食品トレイなどの店頭回収に取り組んでいるお店を利用しましょう。
- 必要なものを必要な量だけ買うようにしましょう。
- 簡易包装、簡易梱包に協力しましょう。
- リサイクルショップやフリーマーケット、不用品ダイヤル市を利用しましょう。
- 再生製品を利用するようにしましょう。
- 詰め替え商品を選ぶようにしましょう。
- レンタル商品を利用するようにしましょう。



暮らしの中のポイント

- 歯みがき粉などの日用品は最後まで使い切りましょう。
- 冷蔵庫の中を整理して食材を無駄なく使いましょう。
- ものを大切に使いましょう。
- 壊れてもすぐに捨てないで、直して使うようにしましょう。
- コンポストを利用するようにしましょう。
- 町内会などで行っている集団資源回収に協力しましょう。



事業者の取り組みメニュー

生産するときのポイント

- ごみになりにくい製品づくりを心掛けましょう。
- 部品や資材は、環境に配慮したものを選びましょう。
- 廃棄製品を自主回収しやすい体制をつくりましょう。
- 梱包材や容器を少なくしましょう。

オフィスでのポイント

- ごみ箱をなるべく少なくし、ごみを出さないようにしましょう。
- 不用紙の再利用や両面コピーなどで紙の使用量を減らしましょう。
- IT機器によりペーパーレス化を推進しましょう。
- グリーン購入法の商品の購入に努めましょう。
- 自動車や自転車などは共有して利用するようにしましょう。

販売するときのポイント

- 食べ残しや賞味期限切れ食品が発生しないように、ニーズに合わせたメニューや品目などの工夫に努めましょう。
- 紙パックや食品トレイ、電池などの自主回収に取り組みましょう。
- 贈答品などの簡易包装に努めましょう。
- 使い捨て容器をやめましょう。
- 食材の無駄をなくすため量り売りに取り組みましょう。
- 詰め替え商品など、環境に負荷の少ない商品を販売しましょう。
- 修理サービスの充実に努めましょう。

